

佐野真人著

古代天皇祭祀・儀礼の 史的研究

A5判上製・416頁／定価:本体12,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1977-3 【2019年10月刊行】

本書は、桓武天皇朝以降に見られるとされる天智天皇系皇統意識（新王朝意識）の見直しを出発点に、平安時代初期の桓武天皇朝・嵯峨天皇朝における儀礼の導入や整備、文徳天皇朝以降の儀礼の変遷や新たな儀礼の創出について考察を加えることで、平安時代前期を中心とした古代日本の儀礼秩序の構築過程の一端を明らかにする。

目次

序論 本書の視点

第1部 桓武天皇朝の皇統意識再考と儀礼の導入

- 第1章 桓武天皇と儀礼・祭祀
- 第2章 日本における昊天祭祀の受容
- 第3章 奈良時代に見られる郊祀の知識—天平三年の対策と聖武天皇即位に関連して—
- 第4章 山陵祭祀より見た皇統意識の再検討
- 第5章 古代日本の宗廟観—「宗廟＝山陵」概念の再検討—
- 第6章 「不改常典」に関する覚書

第2部 古代正月儀礼の整備と変質

- 第7章 天地四方拝の受容—『礼記』思想の享受に関連して—
- 第8章 唐帝拝礼作法管見—『大唐開元礼』に見える「皇帝再拝又再拝」表記について—
- 第9章 「儀仗旗」に関する一考察
- 第10章 正月朝覲行幸成立の背景—東宮学士滋野貞主の学問的影響—
- 第11章 朝賀儀と天皇元服・立太子—清和天皇朝以降の朝賀儀を中心に—
- 第12章 延長七年元日朝賀儀の習礼—『醍醐天皇御記』・『吏部王記』に見る朝賀儀の断片—
- 第13章 小朝拝の成立
- 第14章 皇后拝賀儀礼と二宮大饗

結論 参考文献一覧

さの・まさと…皇學館大学研究開発推進センター助教、皇學館大学大学院文学研究科博士後期課程国史学専攻単位取得満期退学、博士（文学）、皇學館大学神道研究所編『訓讀註釋 儀式 踐祚大嘗祭儀』（皇學館大学神道研究所編、共著、思文閣出版、2012年）、所功監修『京都の御大礼—即位礼・大嘗祭と宮廷文化のみやび—』図録（執筆、思文閣出版、2018年）など。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-533-6860 fax075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	古代天皇祭祀・儀礼の史的研究	本体12,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1977-3	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料600円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				